

専門学校山梨県立農業大学校

農大だより 第13号

2017年8月15日

発行：専門学校山梨県立農業大学校同窓会 北杜市長坂町長坂上条3251 TEL 0551-32-2269

同窓会活動の強化を

同窓会長 鈴木幹夫

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のことと拝察いたします。

先頃、本県の新規就農者調査結果が公表されましたが、それによりますと平成二十八年の新規就農者は三百人を超えており、ここ十年は新規就農者の増加傾向が続いているとあります。

本校におきましても、平成二十年度の専門学校への再編以降入学者希望者が増加しており、本県農業の担い手養成機関として本校の果たす役割も年々高まっております。

近年、農業の現場では、農産物輸出の増加や法人化による規模拡大、企業の農業参入など、新たな動きが目立ってきております。

国では農業の成長産業化を一層進めるために農業競争力強化プログラムを策定し、これを推進する法律が施行されたところです。

こうしたなかで、母校の学舎で夢を抱きながら農業を志す、意欲にあふれた多くの若者の姿を目にすることができるとは、OBの一人として大変心強く思います。

山梨県立農業大学校創立五十年の節目を三年後に控えてお

りますが、同窓会としても農業大学校のさらなる発展に向けて様々な面からバックアップしてまいりたいと考えています。会員の皆様にも、各地域、各学年などの活動を強化する中で一層の努力添えをお願い申し上げます。

関東ブロック実績発表会 二部門で一位獲得！

一月に開催された平成二十八年度関東ブロック農大実績発表会のプロジェクト発表において、養成課程部門、研究課程部門とも本校学生（養成科果樹学科 蓮沼美和さん、専攻科落葉果樹学科 石原晃平君）が一位を獲得しました。このほかの参加者も上位入賞を果たし、全国大会においても優秀な成績をおさめることができました。



石原晃平君 ・ 蓮沼美和さん

平成30年度 専門学校山梨県立農業大学校 学生募集

募集人員 (1) 養成科 学科：果樹学科 20名 園芸学科（野菜・花き専攻）10名
(2) 専攻科 学科：落葉果樹学科 若干名

願書受付及び試験日程

(1) 養成科

区分	願書受付期間	試験期日	試験内容
推薦入学	H29年9月14日～9月27日	H29年10月11日	小論文、面接
一般入学	前期 H29年11月9日～11月22日 後期 H30年1月18日～1月31日	H29年12月6日 H30年2月14日	小論文、面接、科目試験（①国語総合／古文、漢文は除く②数学Iの2科目）

(2) 専攻科

区分	願書受付期間	試験期日	試験内容
一般入学	前期 H29年11月9日～11月22日 後期 H30年1月18日～1月31日	H29年12月6日 H30年2月14日	小論文、面接、科目試験（農業基礎 ※農学系以外の大学・短大卒業者のみ）

魅力ある農業大学校に向けて

校長 加藤 肇

同窓会の皆様には、日頃より農業大学校の運営につきましまして多大なご協力をいただきありがとうございますことに対し、深く感謝申し上げます。

平成二十九年度も四ヶ月を過ぎたところであります。真新しいスーツ姿で緊張しながら入学式に臨んだ新入生も、また、期待と不安の新たな道へスタートを切った訓練生の皆さんも、連日の猛暑にも負けず一生懸命実習や授業に取り組んでいます。真っ黒に日焼けした笑顔を見ると、農業の厳しさ楽しさなど様々な経験を積む中で、着実に自信を深めてきている様子がうかがえます。

近年女子学生の割合が高まっています。特に今年度は養成科新入生二十九名の三割以上に当たる十名が女子学生となっています。また、農業生産法人の増加に伴い雇用就農を希望する学生が増えるなど、学生の状況も変化してきています。職業訓練農業科においても、県外からの移住者も含め、新規参入により農業での就業を目指す訓練生が増えてきております。

農業の担い手の確保育成が喫緊の課題となるなか、このような希望にあふれた総勢百十九名に及ぶ学生・訓練生を受け入れ、将来の本県農業を支える人材の育成に携わることができるとはまことに幸いであり、同窓会の皆様からのご支援に改めて感謝申し上げます。

同窓会におきましては、農業大学校創立五十周年に向けて活動されると聞いておりますが、農業大学校の充実強化に向けて、今後引き続き様々な面でのご支援ご協力をお願い申し上げます。

学校説明会開催予定

	日時	内容
第4回	H29年 9月9日(土) 10:00~12:00	学校説明 進学相談
第5回	H29年 10月28日(土) 10:30~12:00	学校説明 進学相談 (収穫祭)

※詳細は農業大学校ホームページをご覧ください。

農大の近況

平成29年度入学生の状況

養成科の入学生は29名で、出身高校別では農業系高校の出身者が18名を占めました。また、女子学生の入学生が10名で3割以上を占め、近年では最も多くなっています。

専攻科は4名が入学しましたが、全員養成科の卒業生となっています。

近年、非農家出身者が増加傾向にありますが、入学生の皆さんが、本校において専門的な知識や技術を身につけ、山梨の農業・農村の発展のために幅広い分野で活躍していただけるよう期待しています。

平成28年度卒業生の進路状況

平成28年度養成科の卒業生は25名で、進路の内訳は、自営就農者1名、農業生産法人への就職者11名、農業団体(JA)への就職者3名、農業関連会社への就職者2名、公務員1名、他産業への就職者等2名、進学者5名(うち専攻科4名)となっています。

専攻科の卒業生は、3名のうち2名が農業関係に就職しており、卒業生全体では、就農(自営及び雇用就農)した者が12名で約4割、進学や農業団体・農業関連会社への就職を含め農業に関係した分野へ進んだ者は24名で8割以上となっています。

平成29年度職業訓練農業科 訓練生入校の状況

職業訓練農業科の研修は、県立就業支援センターの求職者を対象とした職業訓練で、農業大学校が受託し、実施しています。9ヶ月コース(果樹、野菜、有機農業)が40名、6ヶ月コース(野菜、有機農業)が15名、合計55名が入校しています。農大での講義やほ場実習、先進農家での実習など、農業部門での就業に向けた実践的な訓練に取り組んでいます。

「高校生あぐり体験」開催される

7月29日に、農業に興味を持っている高校生とその保護者32名が参加し、農作業体験や施設見学、本校学生との交流などが行われました。



ももの収穫作業を体験